

I 平成27年度 事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人 東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団

I 平成27年度 事業報告

I 法人の概況

1. 設立年月日： 昭和32年11月27日

2. 定款に定める目的：

大学理工科課程の学生・大学院生に対し奨学援護を行うとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励及び助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を図ることを目的とする。

3. 定款に定める事業内容：

- (1) 奨学金の給与
- (2) 奨学資金を受ける学生・大学院生の指導
- (3) 科学技術に関する研究開発の奨励
- (4) 科学技術に関する調査研究の助成
- (5) 科学技術の研究の成果の普及に関する助成
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管行政庁に関する事項： 内閣府

5. 主たる事務所の状況： 東京都港区港南一丁目8番15号 Wビル17階

6. 役員及び評議員に関する事項：

<理事>

| 役 職 | 勤務形態 | 氏 名 | 経 歴 |
|------|------|--------|---------------------------|
| 理事長 | 非常勤 | 岡井 政義 | 元東燃ゼネラル石油(株) 代表取締役会長 |
| 常務理事 | 同 | 久保田 邦宏 | 元ゼネラル石油(株) 渉外総務副本部長 |
| 同 | 同 | 伊藤 陽二 | 元東燃ゼネラル石油(株) プロジェクト開発部長 |
| 理 事 | 同 | 田村 昌三 | 東京大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 田島 直 | (株)ミツウロコグループホールディングス 名誉会長 |
| 同 | 同 | 長島 昭 | 慶應義塾大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 斎藤 彬夫 | 東京工業大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 小久見 善八 | 京都大学 産官学連携本部研究委員・特任教授 |
| 同 | 同 | 西出 宏之 | 早稲田大学 先進理工学部教授・学部長 |

<監事>

| 役職 | 勤務形態 | 氏名 | 経歴 |
|----|------|-------|---------------------|
| 監事 | 非常勤 | 中島 衛 | 元東燃ゼネラル石油(株) 広報渉外部長 |
| 同 | 同 | 松下 秀司 | 元ゼネラル石油(株) 企画財務部長 |
| 同 | 同 | 森 偉実 | 元ゼネラル石油(株) 信用管理室長 |

<評議員>

| 役職 | 勤務形態 | 氏名 | 経歴 |
|-----|------|--------|---------------------|
| 評議員 | 非常勤 | 斎藤 正三郎 | 東北大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 國武 豊喜 | 九州大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 松村 秀一 | 慶應義塾大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 朝倉 祝治 | 横浜国立大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 大倉 一郎 | 東京工業大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 大聖 泰弘 | 早稲田大学 理工学術院教授 |
| 同 | 同 | 白鳥 正樹 | 横浜国立大学 名誉教授 |
| 同 | 同 | 戸部 義人 | 大阪大学大学院 名誉教授 |
| 同 | 同 | 高橋 裕 | 元ゼネラル石油(株) 中央研究所長 |
| 同 | 同 | 浦邊 太郎 | アイ・エス・ガステム(株) 社外取締役 |
| 同 | 同 | 中西 宏一 | 元ゼネラル石油(株) 小売開発部長 |

7. 職員に関する事項:

男子 1名 (週4日勤務、勤続年数 5年 9ヵ月)

8. 許認可に関する事項: なし

II 事業の状況

1. 事業の内容

(1) 奨学金事業:

奨学金事業では、計画通り、昨年6月に19名の奨学生を新たに採用し、継続生を含めて13大学、49名に総額1,719万円を支給しました。これにより、昭和32年の財団創設からの卒業生901名との合計で931名の学生に奨学金を支給したことになります。

当事業年度の奨学生の内訳及び奨学金給与実績は、以下のとおりです。

① 奨学生数(総合)

| | |
|-------|-----|
| ・ 継続生 | 30名 |
| ・ 新規生 | 19名 |
| 計 | 49名 |

② 奨学生数(指定大学別・大学院生・学部生別)

| | 北 大 | 東 北 大 | 東 大 | 東 工 大 | 横 国 大 | 早 大 | 慶 大 | 名 工 大 | 名 大 | 京 大 | 阪 大 | 広 島 大 | 九 大 | 計 |
|------|--------|-------------|--------|-------------|-------------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|-------------|--------|----|
| 大学院生 | 2 | 4 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 4 | 30 |
| 学部生 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 0 | 3 | 3 | 0 | 1 | 19 |
| 計 | 3 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | 3 | 1 | 4 | 5 | 1 | 5 | 49 |

③ 奨学金実給与額

- ・ 月 額 3万円/1人 (年間 36万円)
- ・ 年間総額 年 額 1,719万円 (予算総額 1,764万円)

④ 募集・選考手続き等

- 平成27年3月17日 指定大学13校に新規奨学生候補者の推薦依頼書を発送
- 同 4月22日 推薦応募申請提出締切り
- 同 5月13日 新規奨学生応募者の面接(東京)
- 同 6月 4日 選考委員会による最終選考及び理事会承認
- 平成28年3月 7日 大学・大学院を卒業する奨学生のための送別会を開催

(2) 研究助成事業:

研究助成事業では、15大学、20名の研究者に対し、研究助成金総額2,360万円の研究助成金を贈呈しました。当年度は募集対象大学を広げた結果、昨年度に比べ、助成者数で3名、助成金総額で660万円の増加となりました。

① 応募実績 (指定校は14大学)

- ・ 大学数 19校 … 指定校 13大学 推薦校 6大学
- ・ 応募案件 38件 … 指定校 27案件 推薦校 11案件

② 募集・選考手続き等

- 平成27年6月10日 指定校14大学及び推薦大学6校に研究助成金募集案内状を送付
- 同 8月31日 応募申請提出締切り
- 同 9月30日 第1次選考会を実施
- 同 11月25日 第2次選考会を実施
- 同 12月11日 選考委員会による最終選考及び理事会承認
- 平成28年2月19日 受賞された研究者への研究助成金贈呈式を開催

2. 資金調達及び設備投資の状況

平成27年度中における借入れ及び重要な設備投資(除却又は売却を含む)はありません。

| | | |
|---|--|----------------|
| 第3回理事会 平成27年12月11日 (ザ・プリンスさくら タワー東京2階コン ファレンスルーム) | 議案事項: 1) 平成27年度 収支予算変更の件 2) 第35回(平成 27 年度)研究助成案件の選考及び助成金額 の決定に関する件 報告事項: 1) 理事長及び常務理事の職務の執行状況に関する報告 | 承認可決 了承 |
| 第4回理事会 平成28年2月19日 (ザ・プリンスさくら タワー東京2階コン ファレンスルーム) | 議案事項: 1) 平成28年度 事業計画書及び収支予算書の承認の件 | 承認可決 |

<選考委員会>

| | | |
|---|---|------|
| 平成27年6月5日 (ザ・プリンスさくら タワー東京2階コン ファレンスルーム) | 奨学生選考委員会 議案事項: 平成27年度 奨学生採用選考の件 | 承認可決 |
| 平成27年12月11日 (ザ・プリンスさくら タワー東京2階コン ファレンスルーム) | 研究助成金対象者選考委員会 議案事項 第 35 回(平成 27 年度)研究助成案件の選考及び助成金額決定 に関する件 | 承認可決 |

5. 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位:万円)

| 事業年度 | 24年3月期 | 25年3月期 | 26年3月期 | 27年3月期 | 28年3月期 |
|---------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 経常収益 | 3,137 | 3,234 | 3,983 | 5,162 | 6,344 |
| 経常費用 | 3,017 | 2,923 | 3,004 | 3,484 | 6,221 |
| (経常差額) | 120 | 311 | 979 | 1,678 | 123 |
| 評価損益等 | -7,760 | 1,233 | 40 | 1,532 | -768 |
| 当期経常増減額 | -7,640 | 1,545 | 1,019 | 3,210 | -645 |
| 資産合計 | 53,838 | 55,426 | 56,467 | 105,000 | 104,371 |
| 正味財産 | 53,773 | 55,318 | 56,337 | 104,744 | 104,099 |

Ⅲ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実 (後発事象)

なし

以上